厚生労働科学研究費補助金（認知症政策研究事業）
分担研究報告書

レビー小体型認知症をもつ高齢者の精神症状が介護負担感の変化に与える影響

研究分担者　林　博史　福島県立医科大学保健科学部教授

研究要旨
レビー小体型認知症（DLB）患者についてデイサービスの利用と精神症状が介護負担感の変化に与える影響を調査した。福島県立医科大学認知症疾患医療センターなど 4 つの医療機関を初診した 65 歳以上の患者のうち、これまでデイサービス（DS）を利用しておらず、McKeith‘s DLB 診断基準（2017）にて Probable DLB を診断された 30 名を対象とした。初診時に認知症の重症度、MMSE、精神症状（NPI-Q)、介護負担感（J-ZBI）などを調査し、6 か月後に同様の調査と DS 利用の有無を聴取した。DS 利用者の介護者は 6 ヶ月後の介護負担感が減少していたが統計学的に有意でなかった。精神症状では DLB 患者の不安、アパシーが持続あるいは新たに出現した患者では介護負担感が有意に増加していた。臨床家は介護者の介護負担軽減のため、患者の不安感やアパシーにより注意を払い、非薬物療法の実施など適切な対応が求められる。

A.研究目的

レビー小体型認知症（DLB）はアルツハイマー型認知症に次いで多い変性性認知症で、認知機能の変動、幻視、レム睡眠行動障害、パーキンソン症候群を特徴とする。McKeith’s DLB 診断基準 (2017)の支持的特徴には妄想、うつ、不安、アパシーなどが含まれており、多くの DLB 患者は様々な精神症状を伴う。DLB 患者の介護負担に関する先行研究では、精神症状が介護負担と密接に関連することが報告されてきたが、
個々の精神症状の変化が介護負担の変化に与える影響については検討されていない。
本研究では、個々の精神症状の変化とデイサービス（DS）の利用が介護負担の変化に与える影響を調査した。

B.研究方法

福島県立医科大学認知症疾患医療センターなど 4 つの医療機関を初診した 65 歳以上の患者のうち、これまでデイサービス (DS) を利用しておらず、McKeith’s DLB 診断基準にて Probable DLB を診断された 30 名を対象とした。初診時と 6 か月後に認知機能、ADL、精神症状、介護負担感を調査し、6 カ月後に DS 利用の有無を聴取し、解析した。

（倫理面への配慮）
本研究は福島県立医科大学倫理委員会の承認を得て実施した。

C.研究結果

DS 利用者は 6 ヶ月後の介護負担感が減少

していたが統計学的に有意でなかった。精神症状では、不安とアパシーが持続、あるいは新たに出現した患者において介護負担感が有意に増加していた。

D.考察

本研究は DLB 患者において個々の精神症状と介護負担感の因果関係を調査した最初の研究である。不安とアパシーが介護負担の増加に関連していたが、DLB の不安は他の認知症より重症化しやすいことが報告されている。また、アパシーは認知症において最も多い精神症状であるが、IADL の低下に最も関連することが知られている。臨床家はこれらの精神症状に特に注意を払い、適切な非薬物療法を導入する必要がある。また、本研究では DS の利用が介護負担感の軽減につながることを示せなかった。対象者数が少なかったことが一因と考えられるが、DLB に特化した非薬物療法に関する研究はほとんど実施されておらず、今後は DLB を対象とした DS プログラム開発が望まれる。

E. 結論

DLB 患者の不安とアパシーの持続・発現が介護負担感の増加と関連していた。

F. 研究発表

1. 論文発表

Hayashi H, Kobayashi R, Shibuya Y, Aso S, Morioka D, Sakamoto K, Kimura M, Sone T, Iokawa K, Suzuki A, Kawakatsu S.Impact of Neuropsychiatric Symptoms on Caregiver Burden of People With Dementia With Lewy Bodies: A Multicentre Prospective Longitudinal Study. Psychogeriatrics. 2025 Jul;25(4):e70051. doi: 10.1111/psyg.70051.PMID: 40390335

Asao A, Sone T, Fujita T, Hayashi H, Kurasawa S, Sumigawa K, Ishikawa Y, Kawamata H, Mitsuhashi Y, Tanaka Y, Kimura N, Iokawa K. Association Between Shopping Assistance and Functional Decline in Older Residents with Support Levels Under the Long-Term Care Insurance System in Japan: A Retrospective, Cross-Sectional Study. Geriatrics 2024, 9(6), 162

Hayashi H, Sone T, Iokawa K, Sumigawa K, Fujita T, Kawamata H, Asao A, Kawasaki I, Ogasawara M, Kawakatsu S. Effects of computerized cognitive training on biomarker responses in older adults with mild cognitive impairment: A scoping review. Health Sci Rep 7(6):e2175, 2024.

浅尾章彦，林博史，五百川和明．福島県内の地域在住高齢者における口腔機能および生活機能徴徴相双および県北地域の 2 市の健康測定会参加者の比較．福島県保健衛生雑誌 40:6-11,2024

2. 学会発表

なし

G. 知的財産権の出願・登録状況
（予定を含む.）

1. 特許取得
例）該当なし

2. 実用新案登録

例）該当なし

3.その他

例）該当なし

Reference

1) H. Sato, S. Nakaaki, J. Sato, et al. Caregiver Self-Efficacy and Associated Factors Among Caregivers of Patients With Dementia With Lewy Bodies and Caregivers of Patients With Alzheimer's Disease. Psychogeriatrics **21** (2021): 783-794.

2) G. McKeith, B. F. Boeve, D. W. Dickson, et al. Diagnosis and Management of Dementia With Lewy Bodies: Fourth Consensus Report of the DLB Consortium. Neurology **89**, no. 1 (2017): 88-100

3) X. Bao, J. Xu, Q. Meng, et al. Impact of the COVID-19 Pandemic and Lockdown on Anxiety, Depression and Nursing Burden of Caregivers in Alzheimer's Disease, Dementia With Lewy Bodies and Mild Cognitive Impairment in China: A 1-Year Follow-Up Study. Frontiers in Psychiatry **13** (2022): 921535.

4) M. van de Beek, A. van Unnik, I. van Steenoven, et al. Disease Progression in Dementia With Lewy Bodies: A Longitudinal Study on Clinical Symptoms, Quality of Life and Functional Impairment. International Journal of Geriatric Psychiatry **37** (2022): 5839

5) H. Sakurai, H. Hanyu, N. Namioka, H. Hatanaka, R. Fukasawa, and K. Kume, Effects of Day Service Use on the Progression of Alzheimer's Disease. Journal of the American Geriatrics Society **62** (2014): 1383-1384.